

# 新生児への対応

---

さの赤ちゃんこどもクリニック

院長 佐野博之

# 新生児に関する相談について

---

- 第67回日本小児保健協会学術大会での、宮下らの発表「新生児について保護者からの相談内容の分析～大阪府小児救急電話相談（#8000）事業」において、2018年度の相談内容のうち772件（4.6%）が新生児に関する内容で、「育児相談」に分類される内容が主であったと報告されている。
- つまり、正常範囲の中での不安によるものが多いと考えられる。
- なので、その対応のためには、新生児の病気を知るよりも、新生児の正常を知っておくのが重要となる。

# 呼吸：正常範囲

---

- 横隔膜優位の呼吸（腹式呼吸） ・ 強制的鼻呼吸
- 呼吸数は多め：40～60回/分
- 鼻呼吸で気道も細く、軽度の鼻汁も出やすい：鼻閉音や一時的なフガフガいう感じはよくある
- 生理的な逆流や嚥下の未熟さもあり、のどに分泌物等が貯留しやすい：時々（むせるような）咳、特に哺乳直度等はのどがゴロゴロいうことはよくある

# 呼吸：異常

---

- ひどい鼻汁・咳、安静時の喘鳴・陥没呼吸や哺乳不良・寝られない等を伴う症状

## 【RSV細気管支炎】

兄弟が軽度の感冒症状であったが、1歳未満の同胞にうつってRSV細気管支炎として発症

## 【百日咳】

発症は多くはないが、無呼吸を伴うことあり

# 体温：正常範囲

---

- 環境の影響を受けやすい：厚着や暖房による発熱は、環境改善することで改善  
室温が適正でも、直接温風や冷風が当たる場所に寝かせていないか、赤ちゃんだけ厚着させていないか、激しい啼泣後の体温測定ではないか等を確認
- 末梢循環はいいわけではない：活気・哺乳良好で体温正常なら手足が少し冷たいのは大丈夫

# 体温：異常

---

- 38°C以上が続く場合は入院適応となる場合がある

生後3か月未満の発熱は入院が望ましい（状態により、経過をしっかりとフォローできる場合はその限りではない）

- 哺乳・活気不良が持続する

【感染症】：尿路感染症・GBS感染症等

# 排便：正常範囲

---

- 緑色、白いつぶつぶは正常
- 便に少量の粘血が混じる
- 便の性状は様々で水様も正常範囲
- 授乳等により腸蠕動が促されるため、授乳ごとの排便も正常範囲
- 逆に、毎日出ない場合もあり、その他（吐乳・哺乳不良・腹部膨満）の高度の異常がなければ日々の綿棒浣腸での対応も可

# 排便：異常

---

- 排便だけでなく排ガスもほとんどなく、**腹部膨満が高度**（仰臥位で腹側に盛り上がる・硬い）  
【ヒルシュスプルング病】
- 血便  
【新生児メレナ】  
★乳首の出血等による仮性メレナも確認へ
- 白色便  
【胆道閉鎖症】

# 腹部・嘔吐：正常範囲

---

- 腹筋も弱く、腸管も拡張しやすく、腹部膨満は起きやすい  
腹臥位で横方向にぽてっと膨らむ・軟らかい
- 吐乳・吐乳：生理的な胃軸捻転・胃食道逆流がある  
胃に空気がたまりやすい  
お腹に力が入ると容易に逆流する：啼泣など  
授乳後数時間が経過しても不消化乳が出てくることはある  
鼻から出てくるから異常ではない

# 腹部・嘔吐：異常

---

- 腹臥位で横に広がるような柔らかい腹部膨満は正常だが、腹側に盛り上がる硬い腹部膨満は異常  
【ヒルシュスプルング病・便秘・消化管アレルギー】
- （繰り返す）噴水様嘔吐  
【肥厚性幽門狭窄症】
- 胆汁性嘔吐・血便  
【（腸回転異常～）中長軸捻転】
- 鼠経部の腫脹：もともとの陰嚢水腫や鼠経ヘルニアの指摘も確認  
【鼠経ヘルニアの陥頓】

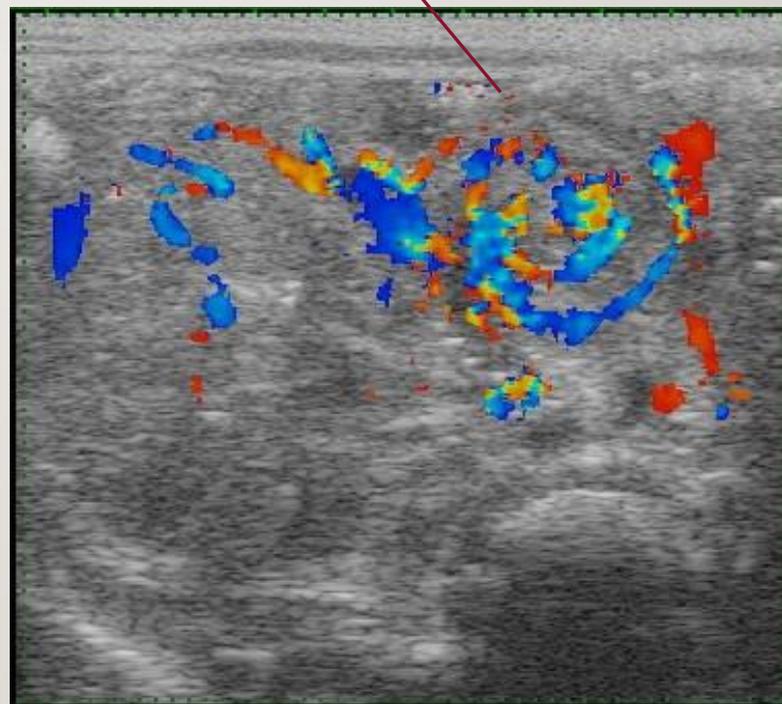
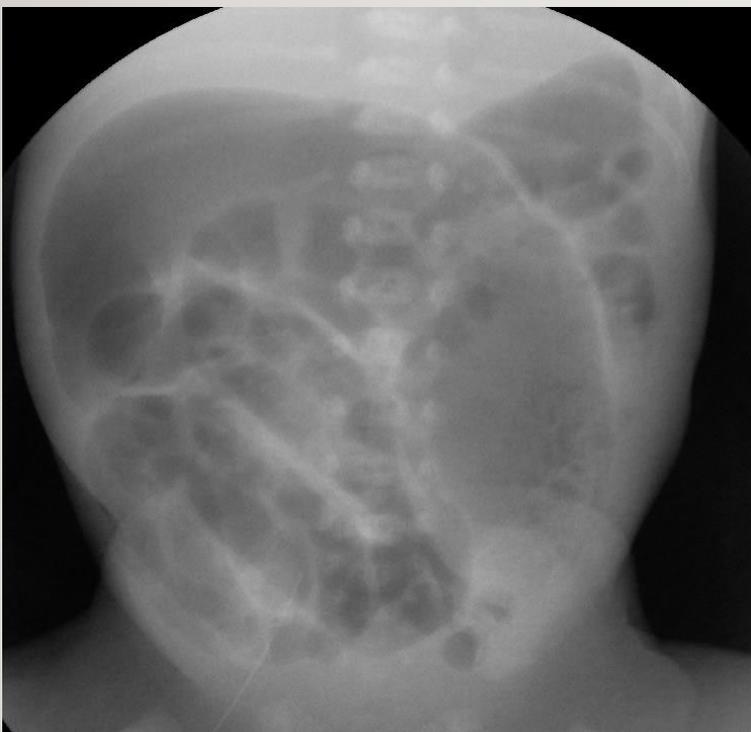
# 腸回轉異常

---



# 中長軸捻轉

whirlpool sign



# 皮膚：正常範囲

---

- 黄疸を認める：（産科退院時より）増悪傾向がなく、便の色が問題ない場合は正常範囲のことが多い
- 出生直後は皮脂が多いが、急激に乾燥肌となっていく
- 末梢（足裏・口唇周囲など）のみの軽度のチアノーゼ

【ハレルキン減少】：体の中央に線を引いたように半分だけ赤くなる現象

【中心性後半】：うなじ（うんな母斑）・額（火炎斑）・眼瞼（サーモンパッチ）

大半は1～2歳までに消失（うんな母斑は残る）

【稗粒腫（はいりゅうしゅ）】：白色・黄色の数mmの丘疹で鼻等に後発

# 皮膚：異常

---

- 黄疸：眼球結膜の黄染も正常でも認めるが、**増悪傾向**があるようなら受診
  - ★小児科クリニックにはミノルタ黄疸計がないことがほとんどなので、出産した産科へ相談
- 湿疹等
  - 【乳児湿疹】：脂漏性湿疹・新生児ざ瘡・皮膚炎
  - ～スキンケア（清潔・保湿）＋必要時抗炎症外用薬
  - ★湿潤・表皮剥離等あれば細菌感染関連の可能性もあり
  - ★圧迫消退しないものは出血斑
- 中心性のチアノーゼ：口唇含めた顔面全体・体幹のチアノーゼ

## その他①

---

- 眼脂：白色であったり、目頭に少量のもの
  - 【鼻涙管狭窄・閉塞】：涙が多く、目が開きにくいほどの眼脂～マッサージ・点眼
- 仮性内斜視：内眼角贅皮により、内側の白目部分が隠れることによる
- 眼球結膜出血：瞳孔の周囲の分娩時の静脈うっ血による出血はよくみられる
- 上皮真珠：歯茎の白い球場の腫瘤
- 舌が白い：舌苔・ミルクかす等
  - 【鵞口瘡】：頬粘膜含めて広くある場合

## その他②

---

- 乳房肥大・魔乳：母体からのエストロゲンによる影響（数か月以内に寛解）
- 臍肉芽：臍炎（排膿及び臍周囲の発赤・腫脹）は要受診
- 赤レンガ色の尿：尿酸塩の結晶
- おりものに血液：新生児月経
- ぴくつき：一瞬のぴくつきが痙攣であることはほぼない

【けいれん（新生児発作）】：同一形態・律動的・繰り返し・10秒以上持続